

## 下条川流域の哺乳類とツキノワグマの採食痕跡

白石俊明<sup>1)</sup>・澤田研太<sup>2)</sup>・南部久男<sup>3)</sup>・後藤優介<sup>4)</sup>

<sup>1)</sup>富山県立山カルデラ砂防博物館 <sup>〒930-1405</sup> 中新川郡立山町芦嶺寺字ブナ坂68

<sup>3)</sup>〒930-0116 富山市追分茶屋90-1

<sup>2)</sup>富山市科学博物館

〒939-8084 富山市西中野町一丁目8-31

<sup>4)</sup>茨城県自然博物館

〒306-0622 茨城県坂東市大崎700

Mammals and Japanese black bear feeding sign around Gejogawa River in Toyama Prefecture

Toshiaki Shiraishi<sup>1)</sup>, Kenta Sawada<sup>2)</sup>, Hisao Nambu<sup>3)</sup> and Yusuke Goto<sup>4)</sup>

<sup>1)</sup>Tateyama Caldera Sabo Museum, 68, Bunazaka, Ashikuraji, Tateyama-machi, Toyama 930-1405, Japan

<sup>2)</sup>90-1 Oiwakechaya, Toyama-shi, Toyama 930-0116, Japan

<sup>3)</sup>Toyama Science Museum, 1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama-shi, Toyama 939-8084, Japan

<sup>4)</sup>Ibaraki Nature Museum, 700, ohsaki, Bamdoh-shi, Ibaraki 306-0622, Japan

要約：富山県西部の射水市及び富山市婦中地域を流れる下条川流域で、哺乳類とツキノワグマの採食痕跡調査を行った。哺乳類は11種が確認された。射水丘陵では富山県の低山を代表する中型哺乳類が確認され、かつては生息していなかった大型哺乳類の分布の拡大が伺われた。2015年秋のツキノワグマのクマ棚は確認されず、2014年秋及び2015年秋につけられたカキノキへのツメ痕は全調査地点で確認されず、3地点で2013年以前につけられたツメ痕を確認した。

### はじめに

富山県生物学会の下条川流域の総合調査の一環として、富山県西部の射水丘陵と射水平野を流下する、下条川流域の哺乳類及びツキノワグマの生息状況を明らかにするため調査を行ったので報告する。

### 調査地および調査方法

下条川は、全長約15km、富山市婦中町吉谷周辺を水源として射水市（旧小杉町）の青井谷・浄土寺・五歩一・戸破をへて射水市（旧新湊市）片口より富山湾へ流入している。富山県西部に広がる射水丘陵と射水平野を流域とし、水源地の標高は100～150m程度と非常に低い。

北陸自動車道よりも南側の上流部は丘陵地で、北側の下流部には平野が広がる。丘陵地は水田・

畑、スギ植林、モウソウチク林、コナラやアカマツの生える二次林、ゴルフ場などとして利用されている一方、平野部は水田や宅地が多い。

今回は、森林が多く、中・大型動物の情報が得やすいと思われる丘陵地を中心に調査を行った。

### 1 哺乳類の調査

#### (1) 自動撮影

射水市青井谷地区に自動撮影カメラを用いてビデオ撮影を実施した（図1）。設置期間は2015年5月22日から6月24日、2015年10月7日から12月2日までの二期間とした。設置場所は丘陵地の斜面（標高40m）にある二次林内で、周囲にはカキノキ、小面積の畑、スギ植林、モウソウチク林がある。また設置にあたっては、地上を徘徊する中・大型哺乳類が利用している獣道が撮影範囲に入る

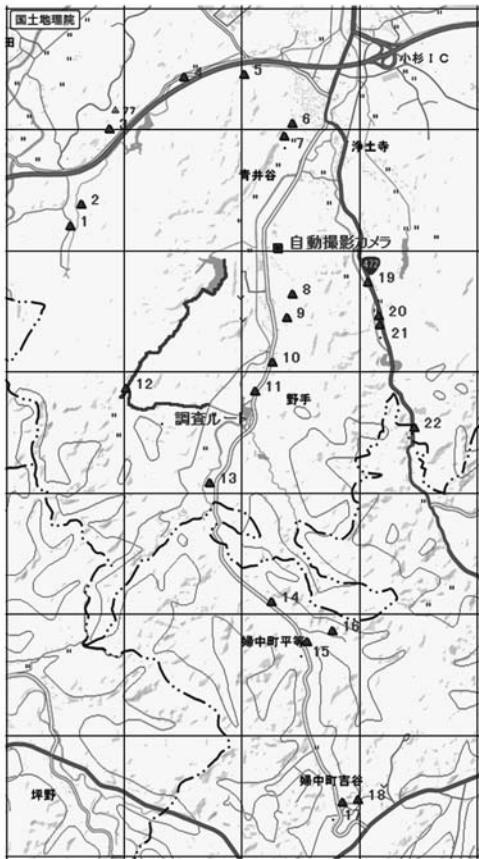


図1 調査地および調査地点・調査ルート

▲はカキノキの位置を示す。

メッシュは1 km×1 km

(国土地理院・電子国土を使用しカシミール3Dで作成)

よう留意した。

## (2) 踏査・聞き取り

調査地において目視による生体・死体の確認、足跡・採食跡・糞などの生息痕跡の記録を実施した。また、調査中に住民への聞き取りも適時行った。

## 2 ツキノワグマの採食痕跡調査

### (1) カキノキへのツメ痕調査

下条川流域におけるツキノワグマのカキノキ利用状況を評価するため、カキノキについてツメ痕の確認調査を二時期に実施した。

対象木は流域の道路を車で走行しながら林縁部、農耕地（田畠・果樹園）、人家周辺（集落）で発見したカキノキを数本抽出し（図1）、ツメ痕の有無および新旧を記録した。

### (2) 林道沿いのクマ棚調査

下条川流域のツキノワグマの生息情報を得るために、採食痕跡であるクマ棚のラインセンサスを実施した。クマ棚はツキノワグマがコナラ、オニグルミ、ミズキなどの樹上で枝を折りながら実を採食した際にできる痕跡で、落葉後の秋から冬が探索に適している。

調査日は2015年11月16日で、調査ルートは流域でも落葉広葉樹林の多い射水市野手から青井谷にかけての車道（林道）、約2.6km（標高約30m～70m）とし、低速で走行する車内から同乗者が目視で探索を行った。

## 結果及び考察

### 1 哺乳類

下条川流域において、哺乳類11種と、種不明のネズミ科1種が確認された（表1）。環境別に大まかにみると、平野部では、アブラコウモリとキツネの2種のみの確認であったが、北陸自動車より上流側の丘陵地（谷間の水田地帯も含む）では、9種が確認された。

調査方法別にみると、丘陵地での自動撮影では、のべ89日間実施し、5種を撮影した（表2）。他、種の特定に至らなかったネズミ科の一種と、種不明の中型哺乳類（タヌキ、アナグマ、イノシシ幼獣などと推定される）が撮影されている。撮影されたのは、全て夜間であった。本調査の踏査と痕跡調査は全て日中に行ったが、自動撮影では、主に夜間に行動が活発な哺乳類が記録されたと思われる。

踏査では7種の生息情報を得た（付表1）。アブラコウモリの生体を平野部で、カモシカの死体を丘陵地で目視確認した。痕跡の確認は全て丘陵地で、ニホンジカの樹皮剥ぎと角とぎ、タヌキの足跡、イノシシの足跡と地面の掘り返し、ツキノワグマおよび種不明の中型哺乳類によるカキノキへのツメ痕、イタチの糞であった。

聞き取り調査では、2種の生息情報を得た（付表1）。流域最下流・平野部で「キツネの親仔等の目撃」と、流域最上流・丘陵地での「ニホンジカの角を拾得」という情報であった。このほか、

表1 下条川流域で確認された哺乳類

目名	科名	種名	丘陵 (小杉ICより上流側、谷の水田含む)				平野部 (国道8号より海側)	
			自動撮影	目撃・死体	痕跡	聞き取り	目撃	聞き取り
翼種目	ヒナコウモリ科	アブラコウモリ					○	
食肉目	イヌ科	タヌキ キツネ	○		○			○
	イタチ科	テン イタチ	○		○			
	クマ科	ツキノワグマ		○				
	ジャコウネコ科	ハクビシン	○					
偶蹄目	イノシシ科	イノシシ	○		○			
	シカ科	ニホンジカ		○	○			
	ウシ科	カモシカ	○		○			
齧歯目	ネズミ科	種不明	○					
ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ	○					

「イノシシが増えて困っている」という住民からの意見も伺った。本調査は、調査期間が短く、日数も少ないとため、住民の方からの情報提供は非常に貴重であった。

以下、確認された哺乳類の状況等を記す。

① アブラコウモリ *Pipistrellus abramus*

平野部の射水市西高木で飛翔する生体を目撃した。県内では、市街地や農耕地で頻繁に目撃され、確認は1例だけであったが、下条川流域の平地に広く分布すると思われる。

② タヌキ *Nyctereutes procyonoides*

射水市青井谷での自動撮影と、富山市婦中町平等での痕跡（足跡）により生息を確認した。自動撮影では最も多い27回記録され、うち19回は1頭、8回は2頭が同時に撮影された。富山県生物学会の総合調査でも最もよく確認され（後藤ら2010, 2015a, 2015b; 南部ら2014）、富山県の低山の代表的な中型哺乳類である。

③ キツネ *Vulpes vulpes*

聞き取り調査から、平野部の射水市西高木において2件の目撃情報を得た。2013年の5月に民家の庭先で2頭を目撃、2014年5月に親仔と思われる5頭（成獣1頭・幼獣4頭）を目撃というものであった。この地区は国道8号線の北側にあたり、下条川流域の最下部（標高1m）で、周辺環境は

水田と緑の多い住宅地である。富山県の平野部ではキツネの情報は少ないものの、2014年8月に滑川市笠木の海岸に近い平地で1頭が目撃される（桃花鳥の会2015）など、平野部でのキツネの生息情報も増えているようである。

なお、自動撮影および踏査では確認されなかつたが、最上流の丘陵の富山市婦中町吉住でキツネの目撃報告（村井ら2010）もあり、本調査流域にはキツネが生息しているものと思われる。

④ テン *Martes melampus*

射水市青井谷での自動撮影で生息を確認した。本種は雑食性で、カキなどの果実を好み、木にも登るため、丘陵地で行ったカキノキのクマ痕跡調査で頻繁に発見した中型哺乳類のツメ痕は本種の可能性がある。

⑤ イタチ *Mustela itatsi*

射水市青井谷の糞により生息を確認した。周辺環境は水田と水路で、今回は農道の路肩で発見し、糞には甲虫の翅が含まれていた。本調査では生体の目撃や自動撮影はなかったが、本調査流域には広く生息するものと思われる。

なお、富山県内ではチョウセンイタチ（外来種）の報告はないため、本種とした。

⑥ ツキノワグマ *Ursus thibetanus*

2013年以前の採食痕跡（カキノキへのツメ痕）

表2 下条川流域、射水市青井谷の自動撮影カメラで撮影された哺乳類（鳥類含む）

2015年5月22日～6月24日：33日間

月日	時間	撮影種	備考
5/22	日中	(撮影開始)	
5/28	日中	鳥類	種不明
5/28	夜間	タヌキ	
5/30	夜間	タヌキ	
5/30	夜間	ハクビシン	尻と尾のみ写る
6/1	夜間	ネズミ科	種不明
6/2	日中	鳥類	キジバト
6/2	日中	鳥類	キジバト
6/2	日中	鳥類	キジバト
6/2	日中	鳥類	キジバト
6/2	日中	鳥類	キジバト
6/3	夜間	タヌキ	
6/3	夜間	タヌキ	
6/4	夜間	タヌキ	
6/17	夜間	テン	
6/22	夜間	タヌキ	
6/24	日中	(撮影終了)	

2015年10月7日～12月2日：56日間

月日	時間	撮影種	備考
10/7	14:39	(撮影開始)	
10/8	19:27	タヌキ	2頭
10/9	21:39	タヌキ	2頭
10/12	20:21	タヌキ	
10/15	18:37	タヌキ	
10/16	19:10	タヌキ	
10/16	22:52	タヌキ	
10/18	1:26	イノシシ	2頭:体格同じ
10/18	1:27	イノシシ	2頭
10/18	1:45	イノシシ	2頭:大型1頭、中型1頭
10/20	21:56	イノシシ	2頭:体格同じ
10/21	23:44	中型不明	イノシシかタヌキかアナグマ
10/23	20:17	イノシシ	
10/23	23:07	タヌキ	
10/25	0:11	イノシシ	
10/25	17:22	タヌキ	
10/28	22:46	タヌキ	
10/31	1:51	タヌキ	
10/31	3:53	タヌキ	2頭
11/1	2:13	ノウサギ	
11/1	4:34	イノシシ	
11/11	22:45	タヌキ	
11/16	3:16	タヌキ	
11/16	22:07	タヌキ	2頭
11/18	19:02	タヌキ	2頭
11/19	19:37	イノシシ	4頭:大型1頭、中型3頭
11/19	19:38	イノシシ	2頭
11/22	19:54	タヌキ	
11/23	23:23	タヌキ	2頭
11/23	2:55	タヌキ	
11/23	19:18	タヌキ	2頭
11/28	1:10	タヌキ	
11/28	2:53	タヌキ	2頭
12/2	13:18	(撮影終了)	

を射水市浄土寺・野手、富山市婦中町平等で確認した。また、2014年には射水市で確認されている。詳細については後述する。

#### ⑦ ハクビシン *Paguma larvata*

射水市青井谷での自動撮影で生息を確認した。雑食性でカキなどの果実を好み、木にも登るため、丘陵地で行ったカキノキのクマ痕跡調査で頻繁に発見した中型哺乳類のツメ痕は本種やテンの可能性がある。

本種は外来種と考えられており、富山県内では1980年にはじめて生息が確認され、県全域に分布が広がっている（赤座・南部、1998）。

#### ⑧ イノシシ *Sus scrofa*

射水市青井谷での自動撮影と、射水市串田・荒町・青井谷・浄土寺・野手、富山市婦中町平等の流域全体の広い範囲で痕跡（休耕田や放棄田含む水田、農道、休耕地などの掘り起こしや足跡）を確認するとともに、踏査を行なった2015年3月、9月、11月の全ての月で痕跡を確認した。自動撮影では9回記録され、1頭3回、2頭5回、4頭1回で、親仔と思われる大きさの違う個体の同時撮影も2回あった。

本種は、近年、分布拡大とイネなどへの農業被害増加が懸念される種で、射水市においては平成20年に生息が確認され、その後、分布が丘陵地の裾（平野との境界）へと広がっている（富山県動物生態研究会2014）。今回の調査でも、北陸自動車道北側に位置する射水市串田の水田地帯で多くの掘り起こしを確認し、北陸自動車道南側の丘陵地においては、ほぼ全域で痕跡を確認した。

#### ⑨ ニホンジカ *Cervus nippon*

富山市婦中町高塚での痕跡と聞き取り情報によって生息を確認した。痕跡は、ネムノキ10本ほどにニホンジカの角による新旧の樹皮剥ぎと傷痕を確認したものである。聞き取りでは、住民が富山市婦中町高塚周辺の山林で最近、拾得したという4尖（3又で4つの尖り）のオス成獣の角（4歳以上と推定）を確認した。

富山県内では、近年、増加傾向にあり、下条川流域では平成21年に射水市青井谷で2件の目撃（6月水田、7月ゴルフ場）、平成26年にも富山市

表3 ツキノワグマの採食痕跡・カキノキにつけられたツメ痕

番号	調査地名	調査本数	ツメ痕のついた時季			
			2013年秋以前のみ	2014年秋のみ	2015年秋のみ	いずれもなし
1	射水市荒町	2	0	0	0	2
2	射水市荒町	5	0	0	0	5
3	射水市串田	7	0	0	0	7
4	射水市串田	4	0	0	0	4
5	射水市青井谷	10	0	0	0	10
6*①)	射水市青井谷	12	0	0	0	12
7*②)	射水市青井谷	4	0	0	0	4
8	射水市青井谷	1	0	0	0	1
9	射水市青井谷	5	0	0	0	5
10	射水市野手	2	0	0	0	2
11	射水市野手	1	0	0	0	1
12	射水市野手	4	2	0	0	2
13	射水市野手	5	0	0	0	5
14	富山市婦中町平等	7	0	0	0	7
15	富山市婦中町平等	4	0	0	0	4
16	富山市婦中町平等	1	1	0	0	0
17	富山市婦中町吉谷	1	0	0	0	1
18	富山市婦中町吉谷	10	0	0	0	10
19	射水市浄土寺	1	0	0	0	1
20	射水市浄土寺	5	0	0	0	5
21	射水市浄土寺	2	0	0	0	2
22*③)	富山市婦中町宮ヶ谷	6	1	0	0	5
合計		99	11	0	0	88

\*1) カキノキ 6本中5本に2010年秋のツメ痕確認（2011年5月27日 後藤・南部調査）

\*2) カキノキ 3本中1本に2009年秋以前のツメ痕確認（2011年5月27日 後藤・南部調査）

\*3) カキノキ 6本中1本に2013年秋のツメ痕確認（2014年7月28日 後藤・南部調査）、

同1本に、2009年秋以前のツメ痕確認（2011年5月27日 後藤・南部調査）

婦中町高家での目撃（1月林内）が報告されており、富山市婦中町地域西部の丘陵地では、平成21年頃からニホンジカの生息情報が増加している（富山県動物生態研究会, 2015）。

## ⑩ カモシカ *Capricornis crispus*

射水市浄土寺のため池内で死体を目視した。特別天然記念物に指定されている保護鳥獣で、富山県内では丘陵地と丘陵に隣接する平野部での目撃が増加傾向にある。かつては射水丘陵には生息していなかったが（環境省, 2004）、2003年5月には、射水市旧小杉町の北陸自動車道で死体が発見されており（村井ら, 2004）、この頃から徐々に射水丘陵で分布が拡大してきたと推測される。

## ⑪ ノウサギ *Lepus brachyurus*

射水市青井谷での自動撮影で生息を確認した。11月1日午前2時に1頭撮影された。本種は、積雪の多い地域では、冬季に体毛の全てあるいは一部が白化するが、今回の調査では撮影画像より体色は確認できなかった。

## ⑫ 種不明（ネズミ科）

射水市青井谷での自動撮影で1個体を撮影したが、種の判別には至らなかった。

尾が長い形状と大きさから、丘陵や山地の森林に生息するアカネズミの可能性がある。

## 2 ツキノワグマの採食痕跡調査

### (1) カキノキへの痕跡調査

丘陵地を中心に99本のカキノキを調査した。3地点、4本のカキノキにおいて、2013年秋のツメ痕を確認した。これら以外の地点では同年秋のツメ痕は確認できなかった。また、全ての地点で2014年、2015年のツキノワグマによるツメ痕は確認されなかった（表3）。

### (2) 林道沿いのクマ棚調査

本調査ではクマ棚は確認されなかった。

調査ルートは下条川流域内においては植生や森林の連続性から最もツキノワグマの利用可能性が高いと思われたが、2015年秋のクマ棚は発見されなかった。他の哺乳類調査中も、流域においてクマ棚を見かけることはなかった。

以上のように、カキノキへのツメ痕調査やクマ棚調査では、2014年、2015年のツキノワグマの生息は確認できなかったが、2004年のツキノワグマ大量出没時には、射水丘陵全域に出没し（富山クマ緊急調査グループほか2005）。2010年秋の大量出没時にもカキノキにクマのツメ痕が確認されている（表3）。また、平年時にも出没することがあり、2014年には射水市の浄土寺（7月2日）と串田（7月20日）での目撃、射水市青井谷での痕跡（10月21日）が報告されている（富山県2016）。今回、2014年秋、2015年秋ともに痕跡等は確認されなかったものの、2014年には、実態は不明であるものの射水丘陵に生息していた可能性がある。

## 3 まとめ

今回の調査で確認された丘陵の中型哺乳類は、富山県生物学会が行ってきた調査（山田川、黒川、柄津川、仏生寺川）でも確認されたものが多く（後藤ら, 2010, 2015 a, 2015 b；南部ら, 2014）、これらは、富山県の低山を代表するものである。

大型哺乳類のうちイノシシ、ニホンジカは、かつては射水丘陵に生息していなかったが（環境省2004）、近年、富山県内での分布の拡大とともに（富山県動物生態研究会、2014, 2015）、射水丘陵においても分布が広がり、カモシカも同様に分布が拡大していると考えられる。射水丘陵のツキノワグマは、富山県（1991）によれば、第2回自然環境保全基礎調査「1978」時には、丘陵南部のメッシュには生息とされるが、丘陵北部のメッシュには生息なしとされており、1990年頃のアンケート調査でも生息地点が挙げられていない。しかし秋の大量出没時には射水丘陵全域で出没し、今回の調査では確認できなかったものの、平年時でも出没が見られることから、生息域が広がっている可能性があり、今後もその動向を注視する必要がある。今回の調査により、近年、射水丘陵では、大型哺乳類（特に偶蹄類）の分布拡大が顕著であると言える。

今回の調査では食虫類やネズミ類の小型哺乳類等は確認できなかったが、調査の精度が高まれば、低山に代表的な種は確認できると思われる。なお、外来種のアライグマは、高岡市赤祖父での保護や富山市婦中町吉住での目撃（村井ら、2009）、氷見市山間部のブドウ畠での写真撮影（北日本新聞2014年10月19日付）が報告されており、射水丘陵での情報に今後も注視する必要がある。

### 謝辞

調査にご協力いただいた川口熒一氏、木下真唯子氏、貴重な情報を提供していただきました、高松宗夫氏に厚くお礼申し上げます。

### 引用文献

- 赤座久明・南部久男. 1998. 富山県におけるハクビシンの生息状況. 富山市科学文化センター研究報告. 21: 119–126.
- 環境省自然環境局. 2004. 第6回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査 哺乳類分布調査報告書（哺乳類）. 215pp.
- 後藤優介・南部久男・河野勇希・河野芳美. 2010.

- 柄津川におけるツキノワグマによる採食痕跡及び哺乳類の記録. 富山の生物. 49: 37–40.
- 後藤優介・南部久男・澤田研太. 2015a. 南砺市山田川流域におけるツキノワグマの採食痕跡とほ乳類. 富山の生物. 54: 81–84.
- 後藤優介・南部久男・澤田研太. 2015b. 氷見市仏生寺川流域におけるツキノワグマの採食痕跡とほ乳類. 富山の生物. 54: 127–130.
- 桃花鳥の会. 2015. 富山県の脊椎動物の記録 (2014). 富山市科学博物館研究報告. 39: 165–167.
- 富山県. 1991. クマ生息調査報告書. pp.47.
- 富山県. 2016. 平成26年ツキノワグマの目撃痕跡情報. 射水市. [http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1709/kj00013975-013-01.html](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1709/kj00013975-013-01.html) (2016年1月30日閲覧)
- 富山クマ緊急調査グループ・日本クマネットワーク (JBN). 2005. 富山県における2004年のツキノワグマの出没状況調査報告書. 112pp+CD.
- 富山県動物生態研究会. 2014. 平成25年度イノシシ等分布・被害状況調査委託業務報告書. 117pp.
- 富山県動物生態研究会. 2015. 平成26年度ニホンジカ捕獲個体侵入経路調査委託業務報告書. 48pp.
- 南部久男・後藤優介・福田保. 2014. 富山市黒川流域の哺乳類. 富山の生物. 53: 47–50.
- 村井仁志・西岡満・白石俊明・神保美和子・森大輔・南部久男・岡圭一・間宮寿頼. 2004. 富山県における哺乳類の記録 (2003年). 富山の生物. 43: 1–8.
- 村井仁志・南部久男・後藤優介・西岡満・間宮寿頼・加藤智樹・白石俊明・細川美和子・見浦沙耶子・森大輔・岡圭一. 2009. 富山県における哺乳類の記録 (2008年). 富山の生物. 48: 91–95.
- 村井仁志・南部久男・後藤優介・間宮寿頼・西岡満・加藤智樹・細川美和子・見浦沙耶子・森大輔・岡圭一・白石俊明. 2010. 富山県における哺乳類の記録 (2009年). 富山の生物. 49: 55–62.

付表1 下条川流域で確認された哺乳類の生息情報

整理番号	種名	確認年月日	確認場所 (市町村)	確認場所 (詳細)	三次 メッシュ	標高 (m)	確認物	環境等	確認者	報告者	備考
1	アブラコウモリ	20151008	射水市	西高木	24-5537-0170	1	生体3(飛翔)	集落・水田	南部	南部	目撃時刻 18:14
2	タヌキ	20151116	富山市	婦中町平等	32-5437-7075	60	痕跡(足跡)	農道	白石	白石	
3	キツネ	20130519	射水市	西高木	24-5537-0170	1	生体の目撃情報	集落・水田	南部	南部	聞き取り。2013年5月19日、民家の庭に2頭のキツネが現れ、その日まで数日、庭何カ所かを掘り返した。No.3とNo.4は隣接。
4	キツネ	20140500	射水市	西高木	24-5537-0170	1	生体の目撃情報	集落・水田	南部	南部	聞き取り。2014年5月、別の民家庭に親1頭、仔(やや成長している)4頭現れた。No.3とNo.4は隣接。
5	イタチ	20151116	射水市	青井谷	23-5537-0015	20	糞2	水田・路肩	白石	白石	
6	イノシシ	20151106	射水市	串田	23-5537-0014	40	痕跡(水田脇掘り返し)	水田・山林	南部	南部	
7	イノシシ	20150323	射水市	青井谷	23-5537-0025	30	痕跡(農道中央掘り返し)	水田・山林	南部	南部	7と8は同じ場所
8	イノシシ	20151106	射水市	青井谷	23-5537-0025	30	痕跡(農道中央掘り返し)	水田・山林	南部	南部	7と8は同じ場所
9	イノシシ	20150320	射水市	青井谷	23-5537-0015	30	痕跡(放棄田掘り返し)	水田・山林・道	南部	南部	
10	イノシシ	20150323	射水市	青井谷	23-5537-0015	20	痕跡(農道中央掘り返し)	水田・山林	南部	南部	10と11は同じ場所
11	イノシシ	20151106	射水市	青井谷	23-5537-0015	20	痕跡(農道脇掘り返し)	水田・山林	南部	南部	10と11は同じ場所
12	イノシシ	20150320	射水市	青井谷	23-5537-0014	40	痕跡(水田掘り返し)	平地	南部	南部	
13	イノシシ	20150927	射水市	青井谷	23-5537-0004	50	痕跡(休耕田と道の脇掘り返し)	水田・山林・ゴルフ場	南部	南部	13と14は同じ谷
14	イノシシ	20151106	射水市	青井谷	23-5537-0004	50	痕跡(休耕田掘り返し)	水田・山林・ゴルフ場	南部	南部	13と14は同じ谷
15	イノシシ	20150926	射水市	青井谷	23-5537-0005	30	痕跡(山の斜面掘り起こし)	山の斜面	南部	南部	
16	イノシシ	20150926	富山市	婦中町平等	32-5437-5437	50	痕跡(休耕田掘り返し)	山林・水田	南部	南部	2箇所あり、1箇所は道路脇、1箇所は畑
17	イノシシ	20150926	富山市	婦中町平等	32-5437-7075	60	痕跡(休耕田掘り返し)	放棄田・山林	南部	南部	
18	イノシシ	20150926	富山市	婦中町宮ヶ谷	32-5437-7096	40	痕跡(荒れ地掘り返し)	道路・山林・建造物	南部	南部	
19	イノシシ	20150329	富山市	婦中町宮ヶ谷	32-5437-7086	50	痕跡(放棄田掘り返し)	放棄田・山林	南部	南部	
20	イノシシ	20150329	富山市	婦中町平等	32-5437-7077	50	痕跡(水田掘り返し)	水田・山林	南部	南部	
21	イノシシ	20150329	富山市	坂下新	32-5437-7097	40	痕跡(放棄田掘り返し)	放棄田・山林	南部	南部	
22	ニホンジカ	20131008	富山市	婦中町高塚	32-5437-7066	80	痕跡(樹皮剥ぎ)	山林	澤田	澤田	ネムノキ10本ほどに、ニホンジカの角による新旧の皮剥ぎや傷跡を確認
23	ニホンジカ	2015年頃	富山市	婦中町高塚	32-5437-7077	50	角1本(成獣オスから脱落)	集落・農地・山林	白石	白石	聞き取り。最近、近所の山林でオスジカの角を拾得した。 夜にシカのなく声を聞くこともある。
24	カモシカ	20150514	射水市	浄土寺	32-5437-7096	35	死体1(成獣)	道路・林・河川	南部	南部	池に死体浮かぶ